

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

Rotary



第2780地区
大磯ロータリークラブ

ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021年度RI会長
ホルガー・クナーク

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30~13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
 会長 新宅 文雄 会長エレクト 守屋 紀忠 幹事 大藤 勉

第2506回 例会

令和2年11月19日 No.12

■司会：布川 史明

■点鐘：新宅 文雄

■合唱：我等の生業

◇プログラム・11月26日：休会・12月3日：理事会、桜川誠さん・12月10日：休会・12月17日：年次総会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
2506回	16(14)	12	85.71%	—	—
2504回	16(13)	9	69.23%	—	—

◇欠席者（2名）

原、田中さん

◇メイクアップ（0名）

ガバナー公式訪問例会

◇ゲスト：久保田英男ガバナー

吉野龍彦ガバナー補佐

鈴木五郎様(鈴木美乃さんご主人)

◇おめでとうございます。

スケジュール：

10:30~11:00：懇談会（Sダイニング）

久保田DG・吉野ADG打ち合わせ

11:00~11:30：懇談会（Sダイニング）

久保田DG、吉野ADG、新宅会長、大藤幹事、河本PDG。

11:45：例会場へ（高砂）

12:00：食事（高砂）

12:30~13:30：例会

13:30~14:30：懇談会



結婚記念日：井上浩吉さん(11/12)

私が結婚した時29才ですから、50年はとっくに過ぎてもうすぐ60周年に掛かろうとしています。この年になると何もかも無の状態に枯淡の心境でございます。皆さん有り難うございました。

我等の生業



◇特別お祝い：布川SAAより説明

太田知加子さんご母堂11月15日に100才を迎えられ、内閣総理大臣から表彰状と記念品を受け取られました。前に表彰状と銀杯が飾られています。



太田さん：皆さん今日は有り難うございました。こんなに母までお祝いして頂くなんて思っていませんでしたので、こんなに嬉しい事はありません。ちゃんと母に伝えます。今後ともよろしくお願い致します。優しいお心有り難うございます。



◇出席報告

鈴木美乃委員



◇会長報告

新宅文雄会長



#、本日は久保田ガバナー・吉野ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問です。コロナ禍における国際ロータリーの現況や、第2780地区のコロナ禍における活動について、ご指導頂きたいと存じます。久保田ガバナーは前例の無いやり方で、ペット、地区研修協議会、地区大会を実行されてきました。ロータリーの集いで感染者を絶対に出してはならない決意で挑まれた結果、オンラインを活用し、飲食は避け、人数を絞り、時間を短縮する等に配慮され、成功裡に終わられました。後程卓話や懇談会でご指導を賜りたいと存じます。意義ある公式訪問にしたいと存じます。ご協力の程よろしくお願い致します。

#、先日、IMについて吉野ガバナー補佐とホストクラブである二宮・大磯RCの会長幹事5名で話し合いをした。また一昨日の会長幹事会でも本年度のIMについて、吉野ガバナー補佐が「IMを中止する」決断に、全員が賛同されました。何故中止をしなければならなかったかについて、後程吉野ガバナー補佐から詳しくお話しを伺いたいと存じます。

次年度のIM担当ホストクラブは繰り下がり、二宮。

大磯RCが務める事になります。

#、本日は暫らくぶりに井上さん、鈴木五郎さん、太田知加子さんが出席して下さいました。

太田知加子さんのご母様様が100歳の誕生日を迎えられ、総理大臣から銀杯と賞状、大磯町からもお祝いが届き、クラブとしても何か気持ちを差し上げたいと考えましたが、太田知加子さんから辞退しますという連絡が事務局に入り、次ぎの様なお祝の手紙だけを差し上げました。

「太田知加子様

拝啓 錦秋の候 朝夕はめっきり冷えて参りました。

お元気で過ごしの事と、お慶び申し上げます。我々大磯ロータリークラブは現在16名ですが、新型コロナウイルスに負けず例会を従来通り開催しております。しかし、食事中は余りしゃべらない様にして、ロータリーソングはテープのみで声を出して歌わない、マスク着用、体温測定など気をつけてやっております。

さて、この度はご母様様の美弥子様様が100歳の誕生日を迎えられ、誠にめでたうございます。安倍総理大臣から銀杯・賞状を贈られたそうですね。めでたいことです。しかし、太田知加子さんの献身的努力の支えがあつての事と考えております。友人知人の嬉しいことは、自分たちも嬉しくなり、頼もしい限りです。大磯ロータリークラブとしても、何か気持ちを差し上げたいと考えておりましたが、太田知加子さんから辞退したいと事務局に連絡が入り、結果としてお言葉に従い、計画を変更しました。クラブ会員はご母様様の美弥子様様の100歳を大変喜んでおります。

今年には日本のロータリーの100周年だそうです。

太田清文様様の東京ロータリークラブの100周年とご母様様の100歳の誕生日、ご縁を感じますね。

最後になりましたが、太田知加子さんご家族ご一統様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

体調を整えて、例会に出席して下さいますようお願い致します。 敬具」

過日事務局に太田知加子さんの弟の太田清文さんから下記の様なメールが入ってきましたので披露します。

「大磯RC会員の皆様 事務局長様 姉 太田知加子がお世話になっております。この度は私どもの母が100歳の誕生日を迎えるにあたり、会員の皆様方の代表として新宅会長より丁寧なるお祝のメッセージを頂きまして、誠に有難うございました。

東京RCは10月21日にコロナ禍の中で創立100周年の記念例会を行いまして、職業奉仕担当理事として感

激を味わい、更なる皆様の母への励ましに、一層の喜びとなりました。大磯RC会員の皆様方の益々のご活躍と貴クラブのご発展を祈り上げます。

六世印相学宗家 太田清文」

#、理事会報告

1. 年次総会の日時は12月17日18:00～ 当プリンスホテルで行います。
2. 次年度の会長は守屋さんですが、理事会で幹事は瀬戸さんに決まりました。
3. 米山.財団寄付は集まった分を送金する。
4. 国旗を新成人にプレゼントする案は否決されました。
5. 米山記念奨学生 中国からの留学生に奨学金対象は適切か? 中国だけ外すことは無理。否決されました。
6. 職業奉仕委員長の石山さんから職場訪問の提案があり、来年に実施する。

秦野市にある「繊維製品再生工場」見学に決定

7. 読売新聞読者サービス（無料でチラシ掲載）会員募集は不可だから、

<ご一緒に世の為人の為に良い事をしましょう>

連絡先は会長の電話番号

#、第8G会長幹事会の報告（時間が無いので端折って報告します）

・第8Gの「IM中止」が全回一致で承認されました。

1. 大磯RC財団・米山寄付の報告は地区の目標240ドル2万円を達成するにはクラブ合計70万～75万円が必要です。11月10日に合計50万円振り込みました。達成まであと少しです、頑張ります。

2. 会長幹事会の他の報告は幹事の大藤さんに報告して戴きます。

◇幹事報告

大藤勉幹事



本日は久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐おいで頂き有り難うございます。

回覧：

1. 2021-2022年度地区補助金申請書についての案内。

2. 第49回ロータリー研究会のプログラムと資料
3. 大磯町消防庁より令和3年の消防出初め式の観覧について。

第8グループ会長幹事会(11/17)報告：

1. ロータリー財団奨学生の選考結果：4名＋補欠1名計5名。
2. インドからの緊急支援要請＝救急車両＝寄付：1,722,733円集まりました。
3. 3月の新会員の集い：宿泊と飲食を伴わないで行う。
4. 来年6月12～15日 On To台北国際大会登録について：今のところ実施の予定。当地 区では現在70名の登録あり。

台湾は11月15日現在で222日間感染者0です。台湾は感染症については大変シビアで大会は開催できないと思っていましたが、先ほど懇談会でガバナー、ガバナー補佐と話していた時に、台湾はロータリーに対して非常に協力的である事。台湾は国際的には孤立しているので、世界からロータリアンが集まる事には非常に意義があると考えているという事でありました。

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

瀬戸亨一委員



今週月曜日、久保田ガバナーのお膝元である鎌倉の材木座というところで、木造新築工事をやらせて頂く事になりました。契約に東京三鷹に行ってきました。その時、設計事務所さんにお客様との繋がりは何だったのですかと訊きましたら「呑み仲間なんです」、「呑み仲間ぐらいという事で設計を1棟させて貰えるなんて随分信頼されてるんですね」と話しましたら「いや、ロータリークラブというのがありますね」と言われ、私もすかさず「私も大磯RCに所属していますよ」と言ったら、設計事務所の先生が凄く興奮気味に「おお!名刺を交換しましょう!!」こういう事は初体験です。アアこういうふう

に表されるのだなと思いました。「お客さんもロータリアンなんです」と言われ、私もロータリアンと言われたのは初めてですし…。そんな繋がりを持って凄く親近感をもって話が出来ました。他クラブの初めて会う方なのに前から知っていたような感覚を覚えたので、私の体験を皆さんに伝えたいと思って時間を頂きました。

・久保田ガバナー・吉野龍彦ガバナー補佐：今年の地区大会は感染防止対策を優先させて頂き、変則的限定的な開催になり申し訳なく思っています。一日も早く不自由ない毎日が戻りますよう。本日は、公式訪問よろしくお願い致します。

・新宅文雄会長：本日は公式訪問です。久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐ご指導の程よろしくお願い致します。井上さん、太田さん久しぶりです。お元気で何よりです。井上さん結婚記念日おめでとうございます。

・井上浩吉さん：結婚記念日祝い ありがとうございます。太田さん御母堂様者百歳おめでとうございます。

・河本親秀さん：久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐ようこそ。本日はよろしく、御指導お願い致します。井上さん結婚記念日おめでとうございます。

・守屋紀忠さん：久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐本日はよろしくお祈いします。井上さん結婚記念日おめでとうございます。

・百瀬恵美子さん：久保田ガバナー様、吉野ガバナー補佐様 ようこそ大磯RCへおこし下さいました。宜しくお祈いします。

・太田知加子さん：ガバナー久保田様、ガバナー補佐吉野様ようこそお越し下さいました。井上様結婚記念日おめでとうございます。本日は実母10歳のお祝いをしていただけてとてもうれしいです。ありがとうございます。

・桜川誠さん：久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐本日は、よろしくお祈いします。井上さん結婚記念日おめでとうございます。

・瀬戸亨一さん：井上さん結婚記念日おめでとうございます。久保田ガバナー様本日はどうぞよろしくお祈いします。吉野ガバナー補佐様前回の例会もお疲れ様でした。本日もよろしくお祈いします。

・鈴木美乃さん：久保田ガバナー様、吉野ガバナー補佐様本日はようこそおいで下さいました。お話を楽しみにしております。井上さんご結婚記念日おめでとうございます。

・鈴木五郎さん：本日は宜しくお祈いいたします。

・布川史明さん：久保田ガバナー、吉野ガバナー補

佐ようこそお越しくございました。本日はよろしく
お願いいたします。井上さんご結婚記念日おめでとう
ございます。

☆瀬戸財団委員長：寄付金送金報告

ロータリー財団送金：215,000円

米山奨学会：特別寄付205,000円

普通寄付 80,000円

計280,000円

◇ガバナー紹介：吉野龍彦画板-補佐



2週間前には親切な対応下さいまして有り難うご
ございました。今日は久保田ガバナーの第8グループ
結びの公式訪問でございます。

先ほど新宅会長からIMについてご質問がありま
した。IMは来年2月6日土曜日に行く予定でござい
ました。今月16日午後ホストクラブである二宮RC
の大岩会長、加藤幹事、大磯RCから新宅会長、大
藤幹事とお話し合い致しました。私がガバナー補佐
引き継ぎの時に三つの事をお願いしました。『(1)皆
様、健康に気をつけて頂きたい。(2)コロナ禍によ
って業績を落とした方もおられる。職業あつての
ロータリー活動、奉仕活動であるので、まず業績の
回復に力を入れて下さいと申しました。(3)とは
言っても先輩達が築いてこられた歴史がありますの
で、後退せずに一歩でも前進するようにお願い申し
上げたと思います』。今回ガバナーと色々ご相談し
ました。一つはオンラインによってIMを開催する
道はないのか？、二つ目に会場、既に二宮RCさん
がプレジールの予約を取って頂いています。ソーシ
ャルディスタンスが取れるか？大勢の方に来て頂い
て感染のリスクはないのか？と言う事を考えました。
プレジールの会館の広さからソーシャルディスタ
ンスは保てないという判断になりまして、皆さんの健
康を大切にします。第3波も来ているので、他のグル
ープがどうされるか会長、幹事の皆さんには提示さ

せて頂きましたが、第8グループとしては中止させ
て頂くとい結論になりました。どうぞよろしくお願
い致します。

久保田ガバナーの紹介：

去年、杉岡ガバナーが地区大会で「ロータリー10
0周年、オリンピック、良いところは皆んな久保田
さんが持って行くんだね」と言われました。久保田
ガバナーがガバナー就任後、ガバナー補佐会議をさ
れた時(コロナ禍の最中)に、私は「久保田ガバナー、
ついてないですね」と申し上げました。久保田ガバ
ナーは「そんな事ないよ、皆が退会せずに、一所懸
命例会を開こう、少しでも皆で奉仕活動やっに行こ
う、という気持ちを考えたならそんな事は全然思っ
ていません、私は少しでも会員の皆さんに対してお手
伝いできれば私は仕合わせです」と言われました。
その時ADGの10人はガバナーがそういう気持ちで
おられるなら我々ガバナー補佐も10人一致団結して
ガバナーを支えて行こうと誓った次第です。

◇卓話

◆◆◆ガバナー卓話◆◆◆

久保田英男ガバナー



皆さんこんにちは、2020-21年度がバナーを務めま
す鎌倉RCの久保田です。今日はよろしくお願
い致します。

今日は太田さんのお母様が100才の長寿を迎えら
れたとても仕合わせなお席に同席させて頂いてな
お且つ井上さんの御結婚も60年を超えられているとい
うことでとても幸せな気分になりながらこの立っ
ています。実は私59才で、今日は50台最後の日で明
日60才の還暦を迎え、若い時最後の公式訪問とい
うことで、記念すべきお祝いの席に同席して光栄に存
じております。私も100才にあやかってあと40年頑
張って参ります。

最初に一寸余談を。11月20日明日が誕生日なんで

すが、私の母方の祖父も同じ誕生日、母の弟＝叔父＝も11月20日。祖父が自分の子も孫も同じ誕生日ということで非常に喜んでくれたそうです。それで11月20日誕生日は親戚中が集まってお祝いをしてくれたそうです。お誕生日というと我々の世代ではバースデーケーキが出て蝋燭を吹き消すのですが、祖父が魚が大好きで鯛の尾頭付きしか出てきませんでした。今も、うちはバースデーケーキが出てこないという不思議な家庭です。実は私は菓子屋ですので「紺屋の白袴」みたいなことです(^0^)



先ほど出ました第8グループのIM中止については第8グループの皆さんのご英断、ガバナー補佐の決断、本当に苦渋のご決断だったと思います。私自身も皆さんご参加頂けなかった地区大会でも出来ればIMを実施して欲しいと申しています。先ほど会長と話し合ったのですが、人と人とが直接出会う目を見ながら会話をすることが如何に大事かということはこのコロナの自粛、ステイホームの時間を過ごしながら凄くそれを感じてきました。IMという近隣の皆様の交流というのは非常に大切だと思い、是非やって頂きたいと思っておりました。昨今、この4~5日の間に急速に感染が拡大し始めています。東京、北海道、神奈川もこの1週間ずっと三桁の陽性者数を出し続けています。この状況の中、ガバナー補佐が言われたとおり、皆さんの健康を考えたらばIM中止はやむを得ないと思っています。まず何より人の命が大事です。そして私達ロータリアンとして職業が大切です。この生業と同時に地域の人達のリーダーとして立っている者として配慮する事が大事だと思っています。本当に厳しい時期、何も出来ないと言う事もあります、逆にしないことがやれる事と考えて頂いて1年我慢して頂ければと思います。私も第8グループのIM楽しみにしておりました。去年も、その前の百瀬AGの時も出席させて頂き貴重な体験をさせて頂きました。懇親会席上で

百瀬さんのフラダンスが見られないのが残念です(^_^)。また是非、今度は目一杯やって頂いて・・・(^0^)またその時呼んで下さい。

4月に予定していました研修協議会、第8グループ二宮クラブを中心として第8グループでホストして頂く予定でしたが、これもコロナの関係で2年間という時間を掛けて準備頂きましたけれどオンラインという形で本来の東海大学でやる研修協議会が出来なかった事を本当に残念に思っておりますし、ご協力頂いた事に本当に感謝しております。また違ったところでご一緒に違った形で何か出来ればと思っております。

ホノルルで行われる予定の国際大会もバーチャルという形になり、国際ロータリー史上初めての中止となりました。地区大会もギリギリまでやれる事を想定して色々考えてきました。まず初めには飲食を伴う事は総べてやらない事で計画しました。しかし2日間も鎌倉まで足を運んで頂くというリスクを考えると1日にしよう、そしてお昼を挟むと食事をしないといけないので半日にしようと、どんどん縮小しました。そして会場も換気の問題とか考えて定員の2分の1か3分の一まで絞らなくてはと言う事で出席者を会長、幹事、会長エレクトに絞らせて頂きました。地区大会は本来会員の皆様の大会です。にもかかわらず出席をご遠慮頂くという本末転倒な事をお願いしました事をお詫び申し上げますと共に、事情をご理解頂ければと思っております。私達ロータリアンにとって直接会うという事がこれだけ大事なんだと感じさせられた時期はありません。このような中で私達はこれをどのように乗り越えて行くかを考えた時に、今年の公式訪問は一寸ニュアンスが違うと思っています。今日このように皆さんと直接会うという貴重な時間を頂いています。今までだったら当たり前のことかも知れません。今日直接お会いして自分の声で皆さんにお届けできるということに幸運だったと思っています。今日は大磯クラブのメンバーの一人になったつもりで同じ目線で、このコロナの時期をどう乗り越えたらいいのか一緒にお話しできれば嬉しいと思っています。それでクラブ協議会の時に皆さんと意見交換して具体的に乗り越えて行く方法をお話しできればと思います。

会員増強と寄付の話はガバナーとしてどうしても話さなければなりません、会員増強目標を地区全体で2,500人にしたいという目標を出しています。この目標はコロナになる前の目標です。今回修正しませんでした。何故かという、その時は2,350人

でした。例年ですと1クラブ3人とか10%増にしましょうとか歴代のガバナーはそういう言い方をされてきています。それ自体は間違っていないし否定しません。非常に分かり易いと思います。しかし私は夫々のクラブによって事情は違うし、地域によっても環境が違う。と言う事は一クラブ当たりという時、66クラブあるので66通りの考え方があるのかなと思っていました。今年国際協議会＝1月開催＝に行く前に、会員増強目標を立てるのに一クラブずつ拝見＝昨年度のクラブ計画書など＝しました。大磯クラブは少ない人数ですが素晴らしい事をされています。例会もきちりされている。会費も地区では若干高めになっている。財政的なものを含めて55周年年度には20人を超えるくらいかなという風にイメージしました。そこへ持って行くのに3年あるから、1年に一人か二人、毎年入ってくれば丁度追いつくかなという風に思って、久保田年度には2名くらい大磯さんはやってくれば良いなという風に勝手に私が想像して、66クラブ足しましたら、素晴らしい事に地区として2,500人になったという妄想の中で、これを目標にしようとなりました。何を言いたいかというと、一クラブ一クラブ個性があり、やろうとされている事、またそこにおられるロータリアンお一人おひとりのパーソナリティをお持ちになりロータリーに対する思い入れをお持ちになりクラブが出来ていると思うので全部のクラブが同じ事が出来るとは思っていない。一つ一つのクラブが良いところがあれば問題もある。そういうものを一つ一つ解決して伸ばして行く事、それが大事な事という風に考えており、一概にこうだという事ではなくて公式訪問の中でご自分のクラブは二人くらいでいいねといった事をお伝えして行けばそれですむ。最終的に2,500人になっておれば良いねという理想は掲げておいた方が良かったので、コロナになった後もこの2,500人は下げていません。これは何年も掛けてやれば良いとも思っていますし、今は会員を減らさない事の方が大事ですから、会員維持という考えになるかも知れません。どこかで仲間を増やそう、作ろうというのが大事だと思います。

先ほどの瀬戸さんの話のように日本には沢山のロータリアンがおられます。ロータリーのバッチをつけていた事で友達になる事が出来た、仲間になれた、仕事を超えて仲良くなれたというこんな嬉しい事はありません。そういう仲間を増やして行きたい。今は難しいかも知れないけれど将来は増やして行きたいと思っています。大磯クラブがいきなり200人300人になる事が望ましいかというところと決してそうではな

くて、今の雰囲気を持続して行きながら、徐々に徐々に仲間が増えて行く事が大事なのかなと思います。

ガバナーになるまで色々な研修を受けて参りましたが、最後の研修がアメリカで受けた国際研修協議会というものです。私達は今年1月、アメリカ・サンディエゴで1週間缶詰になって受けてきました。それが終わって帰ってきた時、ダイヤモンド・プリンセス号の1件があり、そこから急速に状況が悪くなってきました。これに影響を受けて田島ガバナーエレクトが2月にオーランドで研修を受ける予定だったんですが中止に、これが全部オンラインと言う事になりました。本当に残念です。国際協議会というのは＝私の場合は525人のガバナーエレクトがおられました。リーダー方を含めて1,500人＝色々な方と研修を受けるほかに多くの方と懇親を深める場です。来年の国際大会は台北ですが私は多くの台湾のガバナーエレクトの方々と一緒にしました。懇親会では毎回席が決められ、必ず異なる国の方が隣に来ます。アメリカ、ドイツ、インドネシア、台湾の方とお付き合いさせて頂きました。最後の懇親会の時に来年の国際大会は台北で行うと言う事で、台湾のガバナーエレクトの方々が出て挨拶されました。たまたま台湾のガバナーエレクトの方が隣におられ「国際組織の中で、我々台湾の国歌と国旗を掲げてくれるのはロータリーだけです。他の国際機関では、私達を呼んでくれても国旗を掲げる事はなかなか許してくれません。ロータリーは本当にフェアな組織だと思う」と言われました。ご存じのようにオリンピックに参加する時もチャイニーズ・タイペイと呼ばれ、国旗を掲げられる事もない。しかしロータリーではきちんとやっている。こういう事で本当にロータリーって素晴らしいところだなと感じる事が出来る。エピソードだと思っています。

米山奨学会制度の素晴らしいところは、奨学金を返済する事が無い事、必ずカウンセラーが付く事です。そして世話クラブ＝スポンサークラブ＝が付きまします。多くのロータリアンが一人の奨学生に経済的な事ではなくて色々な面でお世話するという素晴らしいシステムで成り立っています。奨学生が終了後に学友として国内に残ったり、世界中に散らばって日本との架け橋になる、それだけでなく世界で成功して外交官になられたり事業に成功されている方が沢山の学友会が出来ます。しかしこのコロナの中で多くの学生達が学業もアルバイトも出来ない状況に追い込まれています。このような中で米山が一つの拠り所になっています。

公式訪問で米山奨学生について次のような2つの

共通した質問が出ます。一つは何故日本の学生には奨学金を出さないのか？日本にも困窮している人は多くいるのだから、出したらどうか？もう一つは一つの国に偏っていませんか？偏っている国と日本の関係は如何なるものか？というものです。中には国名も含めてはっきりと言われる方もおられます…。毎年米山奨学生の選考試験のマニュアルが送られて来ます。今年度も来年1月に選考会を行います。先週今年度の選考基準が送られて来ました。その基準通り採点し、上位から各地区の寄付金額に応じた奨学生の数、今年27名、うち3名のクラブ支援を除く24名をこの基準でフェアに選びなさい。国毎に選ぶのではなく、この基準を満たした者から順に採りなさいと決められています。何ら出自の国を判断して決めているわけではありません。すべて個人の資質を見て選考しています。感情や世論で左右される事なく、人種や国籍に偏見の無いようにフェアにやっている原資になっています。私はフェアにやっているという自信を持っています。世界の政治や経済に翻弄される事なく、ロータリーとしてフェアに全て判断していますという証左の一つになっていると思います。そして前段のもう一つの事＝日本の学生にも奨学金を出す＝ですが、外国人奨学生一人ひとりが素晴らしいものをお持ちですし、色々な事を熱意を持って、夢を持って日本に来ています。そういう人達をどう支えて行くか？私はそういう人達を自分の家族のように思う事が大事と思っています。肌が黒いとか、中国から来ているとかに関係なく自然に受け入れる事が大事である事。それに大学が殆どオンライン授業になっています。日本に折角来ているのに日本人の同級生がなかなか出来ないという悩みがあります。そういう奨学生を例会に招待するか自分の家庭に招待して日本人として交流する機会を作ってあげる事がロータリーとして大事な事だと思います。国際貢献の一つになるかと思っていますし、私はこういうチャンスに恵まれる事を誇りに思っております。

先ほど新宅会長にも話したのですが、**新渡戸稲造先生が学生に国際人としてどんな勉強をすれば良いか質問された時に「限りなくナショナリストになりなさい。自分の国を愛せない人は世界を愛せない。」**と答えられた事を思い出します。まず自分自身、自分の家族、自分の生業、自分の仲間、これ信じ、愛せなければ他の人を愛する事は出来ない。まず何よりも自分の身の回りを大事にして行く事、自分の国を大事にし、自分の町を大事にして行く事が凄く大事だと思います。ロータリーの基本的概念は正にそ

こにある。そこから世界中を平和にして行く。皆がそう思えば絶対世界は平和になると思います。

国際ロータリーがこのコロナ禍の中で行われている事について：

1. 台北の国際大会はやる方向で善処している。1月末に最終判断するがそれまでは基本的にやると準備して欲しいというのがクナーク会長の指示です。
2. 国際協議会は中止でオンラインでやる事になっています。時差の関係があるので、深夜にやるのか、早朝にやるのか？日本のガバナーエレクトは大変な事になるのかな？
3. 皆様にとっては地区大会中止などでなかなかお会いできない事が非常にストレスになっています。それでR Iはオンラインを活用しましょうと強調しています。これに反抗する積もりはありませんし、地区委員会はオンライン会議を積極的に進めています。しかしクラブにおいては健康留意が担保できるのであればやはり直接会って交流する事を前提として欲しいなと思っています。ただご本人の意思だけでなくご家族、従業員といった方々の声も充分聞いて頂ければと思います。ご本人が出席するのが義務だと思われる方が非常に多い、一寸不安があっても出てくる事を厭わない方が大変多い。しかし家族の方々が非常に心配されています。そう言う事を考えて出席免除の方法を考えて頂くとか、出席できない方に出席したのと同じような交流の仕方を考えて頂くのと有り難いと考えています。
4. R Iは六つの重点分野に加えて環境という分野を打ち出してきています。ある意味でコロナも環境の一つだと思います。コロナ禍において何が出来て、何をしなければいけないか？一つひとつきっちり見極めて行く、今回の地区大会にしても地区大会としてやらねばならない事は”これとこれ”、これは外せないけれども短く出来ると言う事を何ヶ月も掛けて実行委員会がブラッシュアップしてくれました。その結果が約2時間半という短い時間の中で出来ました。出来るだけ皆さんのリスクを遠くへ持って行く努力をした結果があれです。物足りないところがあつたかも知れないけれど、大事な事は同じところで同じ目線で地区大会を体験して頂けて最低限の事は出来たかなと。今は最低限の事をする事が第一でそれをどう積み上げて行くか考えて頂きたい。必ずしもリアルな例会をなささいという事ではなく、そういう気持ちがある限り、オンラインであろうが休会しようが皆さんの気持ちが繋がると思っています。皆さんの気持ちがロータリーから離れないようにする事が第一と考えて頂ければ有り難いと思います。

今日は貴重な時間をいただき、また良い祝い事の機会に参加させて頂きました事に感謝致します。

新宅会長＝点鐘

挨拶と質問：久保田ガバナー今日は有り難うございました。大変勉強させて頂きました。

一つ質問は米山の事です。外国人学生だけでなく、日本人学生でも貧しい人があり勉強したくても出来ない人がいる。そういう人を助けてあげられないの？と言う事です

応答：久保田ガバナー：先ほど言い忘れましたが、米山奨学財団は公益財団法人で、定款の中に「日本で学ぶ海外の学生という規定」があります。その為日本人学生には出せないというのが現状です。別に基金を創れば可能ですが米山財団としては出来ない。

新宅会長：新渡戸稲造先生の「国際人になるためにはナショナリストになりなさい」のお話しには感銘を受けました。

懇親会

司会：吉野ガバナー補佐



まずはガバナーへの質問、ご意見、クレームがあれば(^_^)受け付けまして、その後はガバナーにマイクをお渡ししてフリートークという事にさせていただきます。時間的には2時ちょっと過ぎには終了させて頂きたいと考えています。

河本さん：米山奨学制度について、以前或る国の学生の数が多すぎると、何パーセントと枠を填めた事がありました。今はそれが撤廃されているんでしょうか？

久保田ガバナー：撤廃されていません。ある程度、国毎に均等に行くようにと言う配慮はあります。例えば点数を国毎に按分してプラスするとか、これは各地区に任されており、今でもその部分はあります

が、明確に何パーセントというのはありません。

新会員へ100周年記念バッジ贈呈

吉野ガバナー補佐：例会中にやる事を忘れていました。今年100周年を迎えるに当たり、前期の杉岡ガバナーから新会員に記念バッジをお渡しするべく預かって参りましたので、贈呈します。



久保田ガバナーより鈴木美乃さんへバッジ贈呈。また特別に太田知加子さんのお母さん100才記念にとバッジが贈呈されました。



瀬戸さん：私ロータリーに入って2年半くらい立ちました。この間色々勉強させて頂いています。今年度は財団委員長を仰せつかりまして、寄付金がどのように集められ、どのように使われるか？研修会にも参加しました。コロナ禍の中、各クラブ新しい事を考えて生み出して頑張ってくださいと言われました。コロナで宿場祭が中止となり外部募金が出来ないし、クラブの皆さんがどのように考えておられるか、どのように寄付をお願いすれば良いのか何時も悩んでいます。ガバナーは色々な経験をされてきたと思いますが、今まで鎌倉クラブがやってこられた事とか、或いは個人的にどんな活動をされてきたのか経験談

を聞かせて頂ければ嬉しいなと思い質問致します。
久保田ガバナー：ロータリーの奉仕には3種類あると思っています。一つは寄付をするという経済的支援、二つ目は汗をかく＝行動・活動する。R I 提唱のTake Action、そして三つ目は知恵を集めるという事です。何故ロータリークラブが一業種一クラブでスタートして、今もなおそれを色濃く残しているか、職業分類が今も残っているか？。色んな業界で色んな経験を積んでこられた皆さん、業界の中だけでなく地域でのリーダーをされている皆さんがロータリーに集まってきています。知恵を出す＝これは自分の考えを交流させるだけでなく、情報を持っている人達がいるという事、それとニーズを的確に捉えられる人達がここにいます。コロナ禍の中、二つ目の行動が制限されているのであれば、知恵を出す、ニーズを集める事が大事だと思っています。

事例で言いますと、こちらでウガンダの事業をされていますが、**鎌倉クラブでもミャンマーでマイクロクレジットの事業**をお手伝いした事があります。マイクロクレジットというのは少額融資の事です。これをミャンマーのミテラという町で展開させた頂きました。どういう縁でそこで始まったかという、ロータリー財団奨学生の鈴木俊介さん＝茅ヶ崎湘南RCスポンサーでアメリカコロンビア大学留学、現在AMD A 社会開発機構代表＝の声かけで始まりました。最初海外での活動なので旨くゆくかどうか心配していましたが今は旨くいっています。町の女性5人を一グループとして5千円を融資し、それを1年間で増やして次の人達に渡し、また次へと渡して行く。たった5千円ですが、最終的にはとても大きな事業が出来る。それで健康も教育も向上して行く、と言った事をやってきました。お金を投じて年に1回くらい見に行くだけで事業が旨く行くので、凄くやり易い事業かなと思います。**橋本RCは毎月1回駅前を清掃活動しています。それをFacebookでPRしています。**アンテナを張り巡らしているとコロコロと機会がやってくる。それをどうすれば実現できるか？それをやってみては如何でしょうか。他のクラブに顔を出すと、地域のイベントに出るとか、広げて行くと色んなチャンスが巡ってきます。是非そういう風にして頂ければ。

大藤さん：公式訪問の資料の中にクナーク会長が5年後どのようなクラブにしたいかと言われていました。実はあまり考えていなかったんですけれど。私の仕事の中で金融庁からよく言われるのが5年後、10年後どうするの？という事です。何時も困ってしまう。

なかなかイメージとして湧いてこない。もし色々なクラブから何か出ている事があれば教えて頂きたい。事例ではなくても考え方とかプロセスなどについて教えて頂ければ。



久保田ガバナー：長期計画の考え方ですが、今のやり方を繰り返すのではなくて、5年でなくて3年でも良いですし、どういうクラブに成りたいか？それにはどういうステップを踏んで行かないとならないかを考える、ビジネスと同じで**長期は5年、中間に中期計画3年**など。他のクラブでどんな事を考えているかという、**今の会費は5年後には上げない**といけな。上げないためには**会員数を30人**にしようと言うのも長期計画ですし、**50周年、60周年を迎えるのでそれに向けてある事業**をしたい、大磯町に子ども食堂を創りたいと言うような目標を立てられて、そこに行くまでの費用や場所の確保だったり、ネットワークの確保だったりを計画的に何時何が出来るか、するかといったテーマを創ってやろうとしているクラブがあります。**何故そうしなければいけないかという動機付け、ビジョンや目的を立て**られています。

新宅さん：地区職業奉仕委員長からアンケートがあり、疑問あれば書いて下さいと言ってきました。書いたけれども何の返事もない。無視されたのか？と。去年ウガンダにトイレを造りました。国際奉仕で色んな事をやっています。日本は人口が**どんどん減**っています。しかし地球上では人間は**どんどん増**えて行く。私の子供時代は24億人で、今は77億人。2050年には100億人を突破すると言われていています。このまま放置しておいて良いのか？益々貧困者が増えて行くのでは？産児制限というような事をロータリーは何もしなくて良いのか？こういう質問を書いたんですが返事は来なかったです。

久保田ガバナー：多分職業奉仕委員長はガバナーにこたえて貰おうとしたんでしょう。

人口爆発は非常に大きな問題です。昔の日本を思い出して下さい。50年前の日本は人口がどんどん増えていました。今はどうですか、「もっと子供を増やさないと危ないよ。」となってきました。これは何故かという、**教育制度がしっかりしてきて、国のシステムがしっかりしてくると子供の数を増やす必要がなくなってくる。**子供の減少に転じてしまうと言うメカニズムがあるそうです。正に日本はその悪い方に入ってきてしまっています。必要な人口の中で完結できるためには或る一定の教育レベルと或る一定の社会システムが必要で、それをロータリーでは識字率とか地域経済の発展であるとか言う言葉に置き換えて、出来るだけ世界中が同じように教育が受けられて、同じような条件の下で経済的な発展が出来るようにして行く事によって、人口増加が抑えられると考えています。**人口を抑制するためにも識字率を上げて行く事。**職業がある事によって、**働き手としての子供ではなくて、子孫を繋いで行くための子供＝子供は経済力でない＝**と言う事になれば人口爆発は抑えられる。日本は少子化に入って悪いスパイラルに入っている事は事実ですが。最初のうちの考え方は間違っていなかった。アメリカ、フランスなど先進7カ国の間でも同じような現象が起きていて人口は変わっていない。もし増えているとすれば今問題となっている移民問題とされています。移民の人達も同じような適切な教育を受ける事が出来れば問題は無いとされています。

鈴木さん：先ほどは良いお話しを有り難うございました。昔私の家族は豊島東ロータリーのチャーターメンバーでしたので、少しだけロータリーの事を知って、その頃からロータリーに悪い印象は持っていなくて、今度入会のお話しがあった時に積極的に考えようと思って入会したんです。昔は女性会員はなくて女性会員がだんだん増えてきたので参加させて頂いたんですけど、**女性会員である必要性、何故女性が必要なのか**というのがよく分かっていなくて。クラブには男女差別はないんですけど、経済の話が多い。もし女性の目線で皆さんのお役に立つにはどうすれば良いか色々考えているんですけど旨く行かない。これからも女性会員が増えたら良いなと考えながら…。他のクラブで女性だけで何かしておられる事があったら教えてください。

久保田ガバナー：相模原に相模原カメラ・ロータリークラブという女性だけのクラブがあります。また再来年の国際ロータリーの会長は初めて女性になります。私の時代は男女平等で来ていますので、男女50%と言うのは当たり前できています。**多様性と**

いう事を考えた場合、夫々の生業、性別、学校教育＝地元で受けた人、東京で受けた人、外国で受けた人達＝が集まるという多様性が凄く大切だと思います。ですから女性をもっともっと活躍する世の中になって行かなければならないかなと思っています。まだまだ日本の中ではステレオタイプの女性に家庭、男は仕事というイメージが多いという現実を認めざるをえないけれど、決してそうではないよ、と言う事と共に、意識の高い人達にありがちなこれもステレオタイプと思いますが、家庭で子育てを一生懸命しているお母さんに外へ出て行かないと、と揶揄する人達がいる事も凄く残念です。子供達をしっかりと育て上げるというのは立派な職業と思うし、そういう人達がいるお陰で私達がいる。自分自身がそういう考えを持てれば人を大切にすべきだと思うし、その人のバックボーンであつたり出自で差別しない、環境も差別しない。皆がフェアに仕事が出来て、家庭が持てて、そしてロータリーに入りたいと思う人が男性であろうが女性であろうがLGBTQの人であろうが関係なくここに参加してこの町を守って行く、育てて行く、子供達を安全に成長させる事が出来る事がロータリーの大事な事だと思っています。男性・女性比が50：50に一日でも早くなるように願っています。ある時には男性の目線で、ある時には女性の目線で色々な意見を言って頂ければ有り難いなと思います。

吉野ガバナー補佐：他に質問はありませんか？今でなくても、会長に言って頂いてガバナーにお伝えする事も可能です。それではこれにて終わります。皆さん活発なご意見有り難うございました。

新宅会長：ガバナー有り難うございました。今日は楽しかったです。ささやかですが井上の蒲鉾です。

